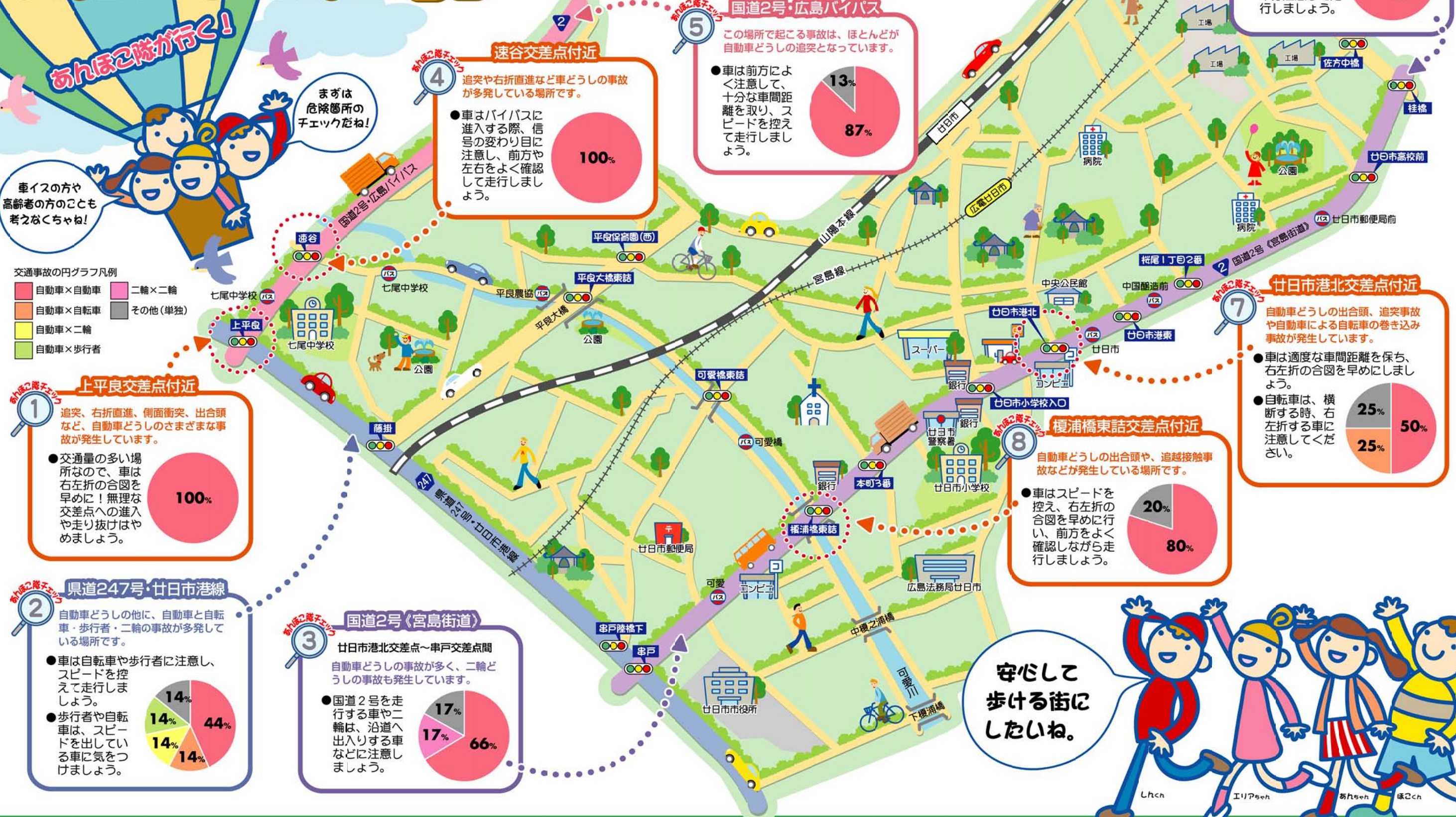


あんほこガイド

Q あんほこ(あんしん歩行エリア)って何?

A 歩行者や自転車通行などの安全に配慮して、整備を行うエリアです。
 あんしん歩行エリアとは、市街地内で交通事故の発生が多い地区を対象に、歩行者や自転車などが安心して通行できるように歩道や信号機などの整備等を行うエリアのことで、広島県では20地区が指定されています。



交通事故の円グラフ凡例

- 自動車×自動車
- 自動車×自転車
- 自動車×二輪
- 自動車×歩行者
- 二輪×二輪
- その他(単独)

1 上平良交差点付近

追突、右折直進、側面衝突、出合頭など、自動車どうしのさまざまな事故が発生しています。

- 交通量の多い場所なので、車は右左折の合図を早めに！無理な交差点への進入や走り抜けはやめましょう。

100%

2 県道247号・廿日市港線

自動車どうしの他に、自動車と自転車・歩行者・二輪の事故が多発している場所です。

- 車は自転車や歩行者に注意し、スピードを控えて走行しましょう。
- 歩行者や自転車は、スピードを出している車に気をつけましょう。

14% 14% 14% 14% 44%

3 国道2号《宮島街道》

廿日市港北交差点～串戸交差点間 自動車どうしの事故が多く、二輪どうしの事故も発生しています。

- 国道2号を走行する車や二輪は、沿道へ出入りする車などに注意しましょう。

17% 17% 66%

4 速谷交差点付近

追突や右折直進など車どうしの事故が多発している場所です。

- 車はバイパスに進入する際、信号の変わり目に注意し、前方や左右をよく確認して走行しましょう。

100%

5 国道2号・広島バイパス

この場所で起こる事故は、ほとんどが自動車どうしの追突となっています。

- 車は前方によく注意して、十分な車間距離を取り、スピードを控えて走行しましょう。

13% 87%

8 榎浦橋東詰交差点付近

自動車どうしの出合頭や、追越接触事故などが発生している場所です。

- 車はスピードを控え、右左折の合図を早めに行い、前方をよく確認しながら走行しましょう。

20% 80%

7 廿日市港北交差点付近

自動車どうしの出合頭、追突事故や自動車による自転車の巻き込み事故が発生しています。

- 車は適度な車間距離を保ち、右左折の合図を早めに行いましょう。
- 自転車は、横断する時、右左折する車に注意してください。

25% 50% 25%

6 国道2号《宮島街道》

桂橋交差点～廿日市港北交差点間 追突、出合頭、右左折時の事故など自動車どうしの事故が多発しています。

- 車はスピードを控えめに、路地からの進入車や歩行者などにも十分注意して走行しましょう。

20% 80%



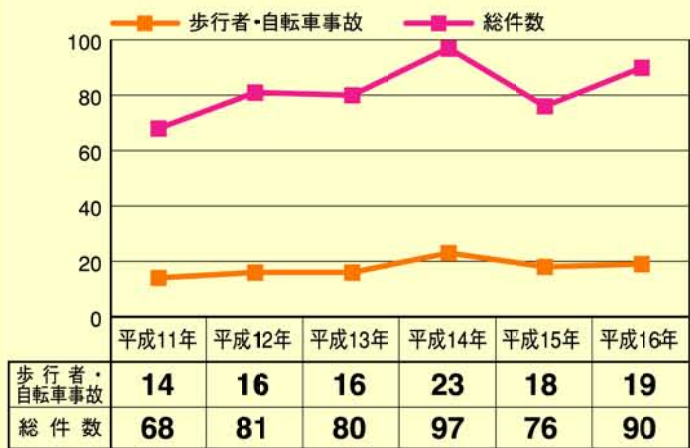
ご存知ですか？廿日市駅地区の交通事情。

廿日市駅地区は、国道2号(宮島街道)を中心に交通量が多く、交通事故発生件数も最近では、増加傾向にあります。



グラフで見る廿日市駅地区の交通事故の推移

■廿日市駅地区での年度別交通事故状況(平成11年～平成16年)



皆さまの声を生かした

「あんしん歩行」対策の例

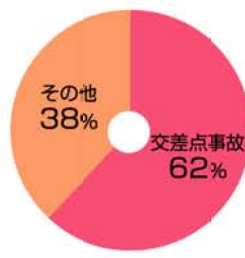
- 串戸交差点の信号機の改良
- 鴨原踏切南交差点の横断歩道新設
- 新宮1丁目交差点に聴覚障害者用信号機を設置
- 市道峰高弘法線、東詰交差点に交差点路面標示
- 市道旧国道、新宮地区の路側のカラー化
- 市道佐方川西線の歩道整備
- 市道佐方越線の歩道整備
- 市道旧国道、大東地区に道路反射鏡設置
- 市道榎之窪1号線の交差点の改良

情報BOX

広島県内の交通事故の発生状況とその原因について

■広島県内の交通事故(平成16年)

交通事故件数 **21,981件**
交通事故による死者数 **189人**
交通事故による負傷者数 **27,977人**



交通事故の62%が交差点での事故です。

- 車による事故の主な原因
- 信号の変わり目での無理な交差点への進入
 - 無理な進路変更
 - 左折時の並走車両等の確認不足



交差点では30%が自転車・歩行者の事故です。

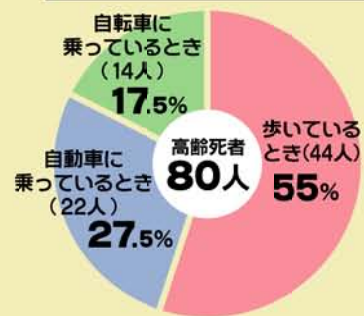
- 自転車・歩行者による事故の主な原因
- 信号の変わり目での無理な横断
 - 路地などからの急な飛び出し



高齢者の交通事故が増えています。

平成16年中、県内での高齢者の交通事故による死者数は、全ての交通事故死者数の**42.3%**を占めています。(前年比**11.1%**増)

県内で交通事故により死亡された65歳以上の高齢者(平成16年)



高齢者の死亡事故の特徴

- 18時～20時に発生
- 55%が歩行中に発生
- 43.8%が道路横断中に発生
- 歩行中・自転車乗車中の34%が、自宅から100m以内で発生

交通安全のアドバイス

- 歩くとき**
- 道路を横断するときは必ず左右の安全を確認し、車が止まるのを待ってから横断しましょう。
 - 夜間の外出は、明るい服を着用し、反射材用品を身につけましょう。
- 自転車に乗るとき**
- 一時停止の標識がある交差点では、必ず一時停止して安全を確認しましょう。
 - 交差点に入ろうとするときは、交差点を通行する車両や横断歩行者に注意し、安全な速度で進行しましょう。

めざします!安心できる歩行エリアづくり。

交通死亡事故の約4割が歩行中と自転車で走行中に発生。また、歩行中の死亡事故の6割が自宅付近(自宅から500m以内)でおこっています。

通学路がこわい!



通学路に大通りから車が入り込み、子供たちが車のそばを歩いている。

自転車は肩身がせまい!

歩道を走ると迷惑がられる。でも車道はこわくて走れない。



生活道路の危険箇所は、こんなところ!

家の前でも安心できない!



家の前の生活道路を車がスピードを出して走っていく。

車いすが通れない!

歩道に段差があったり、電柱が邪魔したりで通りづらい。



ひとや自転車の通行を優先するゾーンづくり。

「あんしん歩行」エリアの整備は、このように行われます。

1 事故の多いエリアを選定します。

地域の方々と連携して、対策を立案します。
●交通安全総点検の実施
●ワークショップの開催
●ヒヤリハット地図の作成など。

3 安全対策を実施します。

4 事後評価を行います。

歩行空間の整備

- 路側帯の拡幅
- 歩道、自転車道、幅の広い歩道、歩行者と車の共存道路の整備
- 段差・勾配の解消、電線類の地中化

交差点の改良

- 右折車線の設置
- 変形交差点の改良
- 駐車スペースの確保
- 違法駐車取締り

信号機等の整備

- 交通量等の情報を基に、信号機を制御
- LED式信号灯器、バリアフリー対応型信号機を設置
- 高輝度・自発光式道路標識等の設置

歩行者・自転車を優先するゾーンの形成

- 最高速度規制
- 歩行者・自転車用道路の整備
- ハンブの設置

整備イメージ図